

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成 29 年 1 月 18 日

計画の名称	日野市における今後の公共下水道事業の計画的な整備方針の確立と推進			
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	日野市	
計画の目標				

今後の日野市の公共下水道事業整備方針を確立し、計画的に公共下水道の普及促進・浸水対策・老朽管対策・地震対策を実施して社会資本の機能向上を図り、安心安全なまちづくりを構築する。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚水処理整備区域面積の割合を、89.24%（H23）から 89.32%（H27）に増加。 ・ 下水道による浸水対策整備区域面積の割合を、29.1%（H23）から29.4%（H27）に増加。 			
----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考																
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 普及促進を実施すべき下水道計画区域のうち、汚水処理整備区域面積の割合。 下水道による汚水整備率（%）＝（整備済区域面積（ha）） / （普及促進を実施すべき区域の面積（ha）） 	89.24%	89.30%	89.32%	浸水対策事業については、H25年度～H27年度に防災・安全事業で引き続いて実施したので、その最終目標値と最終実績値は、H27末値を記載した。																
<ul style="list-style-type: none"> ・ 浸水対策を実施すべき下水道計画面積のうち、浸水対策整備区域面積の割合。 下水道による浸水対策整備率（%）＝（整備済区域の面積（ha）） / （浸水対策を実施すべき区域の面積（ha）） 	29.1%	29.2%	29.4%																	
<table border="1"> <tr> <td>全体事業費</td> <td>合計 (A+B+C)</td> <td>523百万円</td> <td>A</td> <td>523百万円</td> <td>B</td> <td>0</td> <td>C</td> <td>0</td> <td>効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	全体事業費	合計 (A+B+C)	523百万円	A	523百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%									
全体事業費	合計 (A+B+C)	523百万円	A	523百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%										

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
日野市社会資本総合整備計画事後評価委員会設置基準に基づき、日野市環境共生部長を委員長に委員会を設置し、事後評価を実施した。	平成28年8月29日
	公表の方法
	市ホームページ等にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
浅川処理区																	
1-A-1	下水道	一般	日野市	直接	-	汚水	新設	浅川左岸第五処理分区（汚水管1）（未普及）	汚水管 φ200mm L=404.2m φ250mm L=202.7m	日野市						52	■ 計画 ■ 実施
1-A-2	下水道	一般	日野市	直接	-	汚水	新設	浅川左岸第二処理分区（汚水管2）（未普及）		日野市						0	
1-A-4	下水道	一般	日野市	直接	-	雨水	新設	豊田排水区（雨水管1）（浸水対策）	雨水管 φ250～2000mm L=847.3m	日野市						261	
1-A-11	下水道	一般	日野市	直接	-	汚水	新設	浅川左岸第五処理分区（汚水管4）（未普及）	汚水管 φ200mm L=262.3m φ250mm L=323.2m	日野市						164	
全処理区																	
1-A-6	下水道	一般	日野市	直接	-	汚水・雨水	-	日野市下水道管渠施設の見直し	効率的な施設計画の検討	日野市						10	
1-A-7	下水道	一般	日野市	直接	-	汚水・雨水	-	下水道管渠長寿命化対策事業	調査・計画策定	日野市						26	
1-A-8	下水道	一般	日野市	直接	-	汚水・雨水	改築	下水道管渠耐震診断化事業	総合地震対策計画策定	日野市						10	
											合計					523	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・汚水管1192.4mの整備により、下水道による汚水整備率が89.24%（H23）から 93.47%（H27）に増加して、汚水公共用水域の水質向上に寄与した。 ・雨水管847.3mの整備により、下水道による浸水整備率が29.1%（H23）から 30.1%（H27）に増加して、多摩平地区等の浸水被害軽減に寄与した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①普及促進 を実施すべき下 水道計画区域の うち、汚水処理整 備区域面積の割 合	最終目標値	89.32%	目標値と実績値 に差が出た要因	・当事業以外で土地区画整理事業に伴う単費汚水管整備により、目標値を上回る結果となった。
		最終実績値	93.47%		
	指標②浸水対策 を実施すべき下 水道計画面積の うち、浸水対策整 備区域面積の割 合	最終目標値	29.4%	目標値と実績値 に差が出た要因	・目標値は概算値であるので、実績値との差が出た。
		最終実績値	30.1%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・次期(H28～H32)社会資本整備計画では、引き続き未普及対策として、主に西平山土地区画整理事業地内の汚水幹線上流部整備等を実施する予定とする。 					